

不随意運動で歩行困難となり救急搬送された症例

名瀬徳洲会病院 2年次研修医 永岡晋一

【症例】 O.S 87歳 男性

【主訴】 全身のふるえ

【現病歴】 平成22年3月末に全身ふるえが出現し当院へ救急搬送。

脳血管障害による不随意運動との診断にて入院。ジアゼパム（セ
ルシン）内服で改善し自宅退院。

5月31日、突然両上下肢のふるえを自覚。3日後に歩行困難と
なり当院救急搬送。

【既往歴】 高血圧、陳旧性脳梗塞、慢性腎不全

【社会歴】 喫煙歴；10本/日 飲酒歴；1合/日

ADL 完全自立 妻と息子と3人暮らし

【内服歴】 バイアスピリン 100mg 1T1X

アムロジン 5mg 1T1X

以後はスライドで発表させていただきます。